

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月9日

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

上場取引所 大

コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO) (氏名) 岩田 松雄

問合せ先責任者 (役職名) ファイナンス&アドミニストレーション統括オフィサー (氏名) 北川 徹

TEL 03-5412-7481

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	51,396	5.9	4,473	9.2	4,591	8.7	298	△85.8
22年3月期第2四半期	48,544	1.2	4,097	44.2	4,224	42.3	2,094	35.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	208.87	207.68
22年3月期第2四半期	1,468.32	1,460.69

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	48,070	32,562	67.7	22,795.31
22年3月期	48,335	33,061	68.4	23,163.91

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 32,562百万円 22年3月期 33,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	400.00	400.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,800	5.9	7,150	11.0	7,300	10.0	1,600	△52.2	1,120.07

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	1,428,484株	22年3月期	1,427,277株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	—株	22年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	1,427,767株	22年3月期2Q	1,426,558株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成22年10月14日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しておりません。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

(金額単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期会計期間及び第1四半期累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前第2四半期会計期間及び前第2四半期累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政策効果や新興国を中心とした需要の拡大によって回復基調にあったものの、厳しい雇用情勢や急激な円高・株安などにより、先行きの不透明さは依然として解消されないままで推移いたしました。

個人消費につきましても、緩やかな持ち直しの動きがみられていたものの、直近では弱含んだ傾向に転じており、なお予断を許さない状況が続いております。

一方、当社が属するスペシャルティコーヒー市場におきましては、消費者の低価格志向が薄れたうえ、好天候にも恵まれたため、取引件数の増加傾向が継続するなど回復の兆しが見られました。このような状況の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス(お客様の職場と家庭との間にあって、いつでも安心してくつろげる第三の場所)」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

当第2四半期累計期間に販売した主な商品といたしまして、4月より発売を開始した本格的なプレミアムスティックコーヒー「スターバックス ヴィア® コーヒーエッセンス」が、ピバレッジでは、日本の季節感を取り入れた「YUZU グリーン ティー フラペチーノ®」や「クレーン ブリュレ マキアート」、 「クレーン ブリュレ フラペチーノ®」等が、フードでは「グレインブレッド チキン&エッグ」や「フィローネ きのことモツァレラ」、 「パニラシフォンケーキ」、 「クレーン ブリュレ ケーキ」等がご好評いただきました。

また、店舗展開につきましては、環境に配慮したグリーンストア「福岡大濠公園店」や徳島県と青森県でそれぞれ1号店となった「徳島駅クレメントプラザ店」及び「青森ELM店」等を出店いたしました。この結果、18店舗の新規出店(うちライセンス1店舗)、4店舗の退店(いずれも直営店)を行い、当第2四半期累計期間末における店舗数は891店舗(うちライセンス33店舗)となりました。

以上の活動の結果、売上高は51,396百万円(前年同期比5.9%増)となりました。取引件数が順調に推移した結果、既存店売上高は対前年同期比103.3%となりました。また、継続的な新規出店により全体でも増収となりました。

月別の既存店対前年同期比は以下のとおりです。

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期累計
既存店 対前年同期比	売上高	100.7%	103.7%	103.4%	103.1%	105.4%	103.6%	103.3%
	取引件数	101.1%	104.3%	104.9%	104.9%	106.9%	105.9%	104.7%
	客単価	99.6%	99.5%	98.6%	98.3%	98.7%	97.9%	98.7%

売上総利益は37,741百万円(同6.1%増)と、前年同四半期累計期間に比べて2,183百万円の増益となり、売上総利益率は73.4%(同0.2ポイント増)となりました。これは、主に為替が円高に推移したこと及び従来より継続して取り組んでおります原材料価格の低減施策の効果によるものです。

営業利益は4,473百万円(同9.2%増)と、前年同四半期累計期間に比べて375百万円の増益となりました。これは、売上総利益の増加によるものです。

経常利益は4,591百万円(同8.7%増)と、前年同四半期累計期間に比べて367百万円の増益となりましたが、第1四半期会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」が適用となったことによる影響額2,852百万円、及び同会計基準を契機として、対象となる有形固定資産の耐用年数の見積りを変更したことによる過年度分の償却費相当額705百万円を固定資産臨時償却費として特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は298百万円(同85.8%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて265百万円減少して48,070百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて62百万円増加いたしました。これは、主に新商品「スターバックス ヴィア® コーヒーエッセンス」の販売等に伴うたな卸資産111百万円の増加によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて328百万円減少いたしました。これは、主に第1四半期会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」が適用となったことにより資産除去費用を計上したものの、減価償却及び減損損失処理

等により有形固定資産が326百万円減少したことによるものです。

流動負債及び固定負債は、前事業年度末に比べて232百万円増加いたしました。これは、主に未払金や法人税等の支払いによる減少があったものの、長期資産除去債務3,614百万円の増加によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて24百万円増加し、9,383百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、2,415百万円(前年同期差2,924百万円減)となりました。これは、主に未払金の支払い11,889百万円や法人税等の支払い12,436百万円があったものの、税引前四半期純利益739百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額2,852百万円、固定資産臨時償却費705百万円及び減価償却費1,798百万円によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、1,753百万円(同43百万円増)となりました。これは、主に新規出店及び既存店の改装を主目的とする有形固定資産の取得による支出1,522百万円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、636百万円(同1,718百万円減)となりました。これは、主に配当金の支払い566百万円によるものです。

(3)業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しは、第2四半期累計期間の好調な業績を踏まえ、売上高102,800百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益7,150百万円(同11.0%増)、経常利益7,300百万円(同10.0%増)、当期純利益1,600百万円(同52.2%減)に修正いたします。

詳細につきましては、平成22年10月14日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法としております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益は134百万円減少し、税引前四半期純利益は2,986百万円減少しております。また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は3,517百万円であります。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,383	9,359
売掛金	3,352	3,377
商品及び製品	1,028	973
原材料及び貯蔵品	1,314	1,257
その他	3,600	3,650
貸倒引当金	25	26
流動資産合計	18,653	18,591
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,042	8,372
その他(純額)	3,117	3,114
有形固定資産合計	11,160	11,486
無形固定資産	1,164	1,321
投資その他の資産		
差入保証金	16,000	15,962
その他	1,180	1,068
貸倒引当金	89	95
投資その他の資産合計	17,091	16,935
固定資産合計	29,416	29,744
資産合計	48,070	48,335
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,162	2,660
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	179	195
未払法人税等	600	2,661
賞与引当金	406	-
その他	7,862	9,221
流動負債合計	11,411	14,938
固定負債		
長期借入金	148	230
役員退職慰労引当金	19	19
資産除去債務	3,614	-
その他	313	87
固定負債合計	4,096	336
負債合計	15,507	15,274

(単位:百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,393	8,380
資本剰余金	10,968	10,955
利益剰余金	13,596	13,868
株主資本合計	32,958	33,204
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	396	143
評価・換算差額等合計	396	143
純資産合計	32,562	33,061
負債純資産合計	48,070	48,335

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	48,544	51,396
売上原価	12,986	13,654
売上総利益	35,557	37,741
販売費及び一般管理費	31,460	33,267
営業利益	4,097	4,473
営業外収益		
受取利息	1	5
受取補償金	39	0
為替差益	14	18
プリペイドカード失効益	59	61
その他	24	80
営業外収益合計	138	166
営業外費用		
支払利息	10	4
支払補償費	-	37
その他	1	6
営業外費用合計	12	48
経常利益	4,224	4,591
特別利益		
店舗閉鎖損失戻入益	22	29
退移店補償金	-	17
その他	-	4
特別利益合計	22	51
特別損失		
減損損失	376	318
固定資産除却損	33	17
固定資産臨時償却費	-	705
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	2,852
その他	23	9
特別損失合計	433	3,903
税引前四半期純利益	3,814	739
法人税等	1,719	441
四半期純利益	2,094	298



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	3,814	739
減価償却費	1,765	1,798
固定資産臨時償却費	-	705
減損損失	376	318
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	2,852
引当金の増減額(は減少)	450	400
受取利息及び受取配当金	1	5
支払利息	10	4
為替差損益(は益)	0	1
有形固定資産除却損	52	19
無形固定資産除却損	2	-
店舗閉鎖損失戻入益	22	29
売上債権の増減額(は増加)	80	24
たな卸資産の増減額(は増加)	210	111
仕入債務の増減額(は減少)	250	497
その他	196	1,367
小計	6,262	4,850
利息及び配当金の受取額	1	5
利息の支払額	13	4
法人税等の支払額	911	2,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,340	2,415
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,649	1,522
無形固定資産の取得による支出	207	135
差入保証金の差入による支出	250	300
差入保証金の回収による収入	149	211
定期預金の払戻による収入	200	-
その他	47	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,710	1,753
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	1,800	-
長期借入金の返済による支出	141	97
株式の発行による収入	10	26
配当金の支払額	423	566
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,354	636
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,274	24
現金及び現金同等物の期首残高	3,956	9,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,231	9,383

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

当第2四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第2四半期累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日		
	売上高(百万円)	売上構成比(%)	前年同期比(%)
店舗販売			
ビバレッジ	37,888	73.7	103.9
フード	7,738	15.1	103.7
コーヒー豆	2,628	5.1	165.7
コーヒー器具等	2,007	3.9	96.3
店舗販売計	50,263	97.8	105.6
その他	1,132	2.2	117.4
合計	51,396	100.0	105.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。